



一隅を照らそう  
5月号

352号  
毎月28日発行

E-mail: info@tougakuin.jp



## 仏さまと自分との 継ぎ目をなくす

住職 中島 有淳

毎日の新聞・テレビのニュースはめぐるしく、瞬時に世界の隅々まで報道されます。世界は大きく二分され対立しています。そしてお互いに事実と異なった発表や一方的な見方によって混乱を招き、多くの市民が犠牲になったりしています。

その溝は深く、底しれない闇であります。人の行動や言葉は影響力を持ちます。起こした行動や口にした言葉が、影響を持つからです。

仏教では悪い業を作り生きないよう戒を作りました。十悪(十戒)といって、身体動作と言語表現と心意作用の三つが作り出す悪を十に整理しています。

- 身体動作 一、生物を殺す 二、盗む 三、姦淫する
  - 言語動作 四、嘘をいう 五、二枚舌をつかう
  - 六、悪罵のしる 七、駄言を弄する
  - 心意作用 八、貪る 九、怒る 十、邪見にふける
- であります。

身・口・意を修めることは仏教にとって重要で、やかましく説かれます。今日のニュースは煩惱を刺激し、やたらと危機感が煽られます。そうした中で十戒を守らず悪業を重ねていく世の中の有り様は、益々人身を混乱させるものとなってしまいます。

少しでも悪を遠ざけ、善に近づくよう心がけねばなりません。『法華経』には、「我れ此の衆生を見れば、苦海に没在せり」とあり、つづいて「かるがゆえに、身を現せずしてそれを渴仰を生じせしむ」と説きます。さらに「我が此の土は安穩にして、天人常に充滿せり」と示されています。「苦」に悩まされるのも、「苦」を乗り越える生き方も、我が心次第であることを教えていただいているのです。

しかし、人間は煩惱によって、業を作ります。つまり頭がウズウズする。もう少し、もう少し……と頭がウズウズします。これを有の苦といい、いろいろの方面に於いて当てはまり、つまりこれは「我執」ということです。

結局人間は我が身に執着し自分にこだわっている間、その境地を脱することは難しいのでしよう。我々は何らかの方法で執着の尽きた苦しみのない世界を求めるわけです。その世界は仏の世界で、その仏と自己との継ぎ目がなくなった世界を希求するのであります。

道心とはこうした仏道に精進することであり、この継ぎ目のない世界を求めてお経を読んだり、坐禅をしたり、お念仏を唱えるのです。これは「入我我入」の世界で自分と仏と波長を合わせるためです。ラジオで喻えますと波長が合えば音が聞ける。テレビで喻えれば波長が合えば仏の世界が見聞できる。そうしたピタリとあった瞬間を求めて精進し、そこにめざすべき世界があるので。合掌する時は心から三世・十方世界に合掌します。

「仏陀」の導きに自分の人生を委ねてしっかりと歩み、心して進んでいきたいと願っています。

## 折りふしのはな

アルストロメリア  
ふたつみつと  
花がかたまつて咲き  
色も種々あり  
子供達がグループで  
楽しそうに  
おしゃべりしているみたい  
アルストロメリアの花言葉は  
未来への憧れ  
持続 などだそうです  
世界中が混沌こんとんとしている現在  
愛いとしい子供達の未来が  
安寧でありますように  
と祈るばかりです

(遊)



### 五月行事案内

- ◎五月八日 午後二時  
薬師如来大護摩供修行
  - ◎五月十二日 午後二時  
智泉院法要日(於・日本橋茅場町)
  - ◎五月十八日 午後二時  
観音経読誦法要(於・神木観音堂)
  - ◎五月二十八日 午後二時  
不動明王大護摩供修行
- \*毎朝六時より公開で朝のお勤めをしております  
ご都合のよろしい時にはご一緒にどうぞ

ご希望の方には  
お礼を授与しております

5/13(土) 月例(※要事前申込)  
「止観(坐禅)会」9:30-10:30  
「2年かけて『法華経』を読む会」  
【最終回!】11:00-12:00



## おんがき

○政府は日本が弾道ミサイルで攻撃を受けた時、相手国のミサイル基地を攻撃出来る能力を自衛隊が保有することを決めたという。これって国是の「専守防衛」に逸脱しないのでしょうか。

○マスク着用が自由となり人の賑わいが大戻ったといわれています。外国人も増え街は国際的に。日本の魅力は安心・安全・清潔、そして親切なおもてなし……。これらはとても大切です。

○トルコ・シリアの地震に救援募金を三月末迄にお願い致しましたところ合計一〇七、四一〇円をお寄せ戴きました。早速、天台宗の「一隅を照らす運動総本部」の地球救援募金に寄託しました。茲にご報告し、御礼申し上げます。

○毎年四月と五月に當山の不動明王像が近郊に出開帳して回る「不動尊ご巡行」。四月の巡行先は横浜市で、昨年まで御世話人宅でしたが、今年と同じ天台宗の本覚寺(鶴見区獅子ヶ谷)様へ出開帳。核家族化が進む中、従来のかたちをアレンジして新たな「ご巡行」が模索され始めました。五月にはまた川崎市内の御世話人宅を旅します。御世話人皆様、よろしくお願いたします。

○令和三年の四月にスタートした月例の「二年かけて『法華経』を読む会」は、参加者の皆様と全二十八品をお唱えし終わり、今般喜ばしくも最終回を迎えます。最終回参加大歓迎。

○今年のつつじは例年になく早咲きで、気候変動の影響が直。若葉の美しい季節です。青い空に「鯉のぼり」は気持ちや和みます。

合掌